

令和5年度

試験名:社会学類編入学試験

【社会国際学群 社会学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
編入学試験 専門科目 政治学	<p>「多数者の専制」という概念を、具体的な例を交えて説明させることで、民主政治に対する基本的な理解と、それを現実の政治現象に応用する能力、さらには論理的に記述し、説明する能力を判定することを意図して出題した。</p> <p>評価のポイントは、第1に「多数者の専制」という概念についての的確に説明できていることである。民主政治において全員一致による決定が難しい場合、多数者の意見を反映させる原理が採用されることが多い。しかし、そのことにより、少数者が決定から排除され、彼／彼女らの利益を剥奪する恐れがあるという点に対する理解が求められる。第2に、これを具体的な政治現象に適切に当てはめて説明できていることである。第3に、文章の記述や構成が論理的であることである。</p>

令和5年度  
試験名:

【社会・国際 学群 社会学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
英語	<p>単純な英文読解能力に加えて、学術的な概念理解の深度を測ることを意図した出題のため標準的な解答例はない。</p> <p>【出題意図】</p> <p>問1 政治学に関する一定の長さの英文について、内容を正確に理解する能力を把握するために、日本語による全訳を課した。現代ナショナリズムの問題を論じる英文を出題し、政治学・国際政治学に対する受験生の基本概念理解についても把握することを意図している。</p> <p>問2 基本的な出題意図は、問1に準ずるものである。ただし、英文の内容は、近年複雑化の一途辿っているグローバルな移民と難民問題の分析に必要な概念および理論枠組についての理解を把握することを目的としている。英文の要旨と文脈の理解を見るために全体の要約を課した。</p>